



「我が家を建てるなら 木の家と思っていました」

新居を考えていた子育て中のFさんご夫妻の目に止まったのが、「自然素材の家」と書かれた小さな新聞広告。家を作るなら木の家と
考えていたFさんは、出かけた見学会で「自然素材の家」にひとめぼれ。
家に入った時、肌になじむ空気。素足で歩きたくなる「うずくり(浮造り)」の
スギ材の床板、風合いを活かした木の壁。
ふんだんに使われた木に抱かれ、感じる安らぎこそ、理想の我が家でした。

一番は地域になじむこと。 安全、コスト面も優れた木造工場

大阪からの誘致企業として、地域に開かれた工場を模索していたY社。
そこへ宮崎の設計事務所から提案されたのが木造の工場でした。
Y社は安全性など、木造建築物への知識を得た上で木造に決定。完成した工場は
周囲の景観にもなじむ理想的なものとなりました。建設中から、柱が立ち並び、
大きな梁がかかるダイナミックな工事の様子を、また大工さんの手作業を、
地元の人たちと一緒に見ながら過ごしたのも木造ならではの醍醐味でした。
コスト的にもコンクリート造等と比較して安く、工期も短く、
満足のいく工場が完成しました。

